

CASBEE-建築(新築)2016年版
 いすゞ自動車近畿株式会社 総務営業所 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 基本設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					2.7
Q1 室内環境品質			3.0		2.9
1 音環境		3.0	0.15	-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	
2 温熱環境		2.3	0.35	-	2.3
2.1 室温制御		2.5	0.50	-	
1 室温		3.0	0.38	-	
2 外皮性能		1.0	0.25	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	
3 光・視環境		3.1	0.25	-	3.1
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	
1 昼光率		3.0	0.60	-	
2 方位別開口		-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	-	
3.3 照度	事務室: 照度500lx以上	4.0	0.15	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	
4 空気環境		3.7	0.25	-	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	
1 化学汚染物質	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	
2 喫煙の制御	喫煙室を設ける	5.0	0.50	-	
Q2 サステナビリティ			3.0		3.1
1 機能性		2.8	0.40	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.30	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	GL鋼板35年	5.0	0.20	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	石膏ボード30年	5.0	0.10	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり		階高が3.9m以上 壁長さ比<0.1	5.0	0.30		-	
1 階高のゆとり			5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ			5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.38			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー				0.740			3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m 0.65	5.0	0.04		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.65	4.5	0.60		-	4.5
4 効率的運用			3.0	0.24		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	
LR2 資源・マテリアリティ				0.30			3.1
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げが容易に分別が出来る	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.5
1 地球温暖化への配慮		LCG02=79%	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1 屋外用照及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	